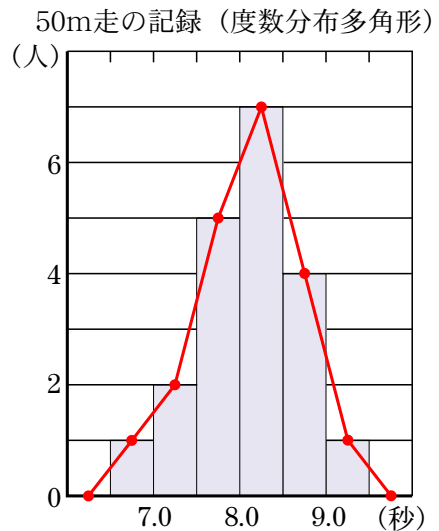
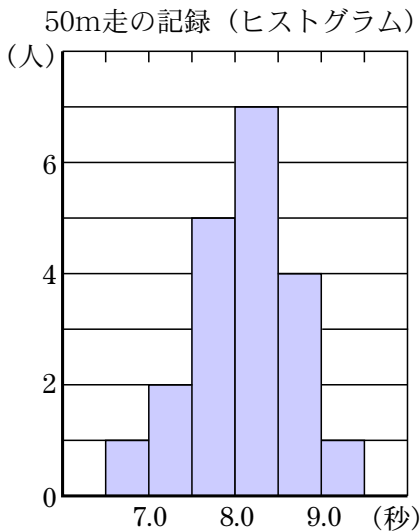


度数分布多角形

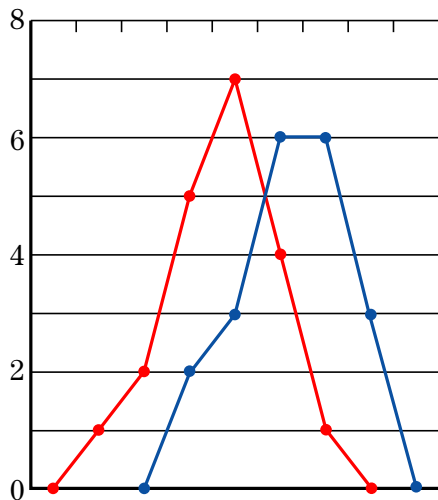
度数分布表を折れ線グラフで表したものを、度数分布多角形または度数折れ線という。

度数分布多角形は、ヒストグラムをもとにして、次の手順でかくとよい。(下の図は、その例である。)

1. ヒストグラムの各長方形の上の辺の中点をとる。
2. ヒストグラムの両端については、度数0の階級があると考える点をとる。
3. とった点を折れ線で順に結ぶ。



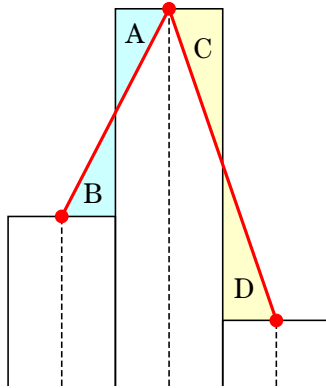
2つの資料を比べるとき、それぞれの度数分布多角形を重ねてかくと、分布の違いなどが分かりやすい。(ヒストグラムを重ねたものは、分布の違いが分かりにくい。)



2つの資料の度数の合計が違ふときは、縦軸に相対度数をとった度数分布多角形を重ねるとよい。

【参考】

下の図で，A と B，C と D の面積はそれぞれ等しい。



これから，ヒストグラム全体の面積（長方形の面積の合計）と度数分布多角形の面積は等しいことが分かる。